

	事項	基準値※1	目標	現状値※2	出典	歯科口腔保健推進法 (基本的事項)(~34年度)	健康日本21(第二次) (~34年度)	健やか親子21(第二次)	第3次食育推進基本計画	
全体目標	「歯と口腔の満足度の向上」	歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合(80歳以上)	57.9%	増やす	54.8%	歯科診療所患者調査				
	「8020運動の推進」	8020を知っている都民の割合(20歳以上)	57.6%	増やす	57.1%					
		8020を達成している都民の割合(80歳)	39.8%	50%以上	54.7%					
個別目標	幼児期	う蝕のない者の割合(3歳)	83.8%	85.0%	87.4%	3歳児歯科健康診査実績(H25)	3歳児でう蝕のない者の割合の増加(77.1%→90.0%)			
							3歳児での不正咬合等が認められる者の割合の減少(12.3%→10.0%)			
		フッ化物配合歯磨剤を使用している者の割合(3歳)	55.3%	70%以上	66.8%	幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査				
		甘味飲料をほぼ毎日飲む者の割合(3歳)	27.8%	20%以下	26.0%					
		週に1回以上、子供の歯と口腔を観察している保護者の割合(3歳)	81.3%	90%以上	81.2%					
								仕上げ磨きをする親の割合(69.6%→80.0%)		
		かかりつけ歯科医を持つ者の割合(3歳)	45.0%	60%以上	48.5%			子どものかかりつけ医(歯科医師)を持つ親の割合(40.9%→50.0%)		
	学齢期		一人平均う歯数(12歳)	1.3歯	1歯以下	0.93歯	東京都の学校保健統計(H25)			
								12歳児でう蝕のない者の割合の増加(54.6%→65.0%)		
			歯肉に炎症所見のある者の割合(12歳)	17.6%	減らす	17.3%	東京都の学校保健統計(H25)			
							中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少(25.1%→20.0%)			
								歯肉に炎症がある十代の割合(25.7%→20.0%)		
		ほぼ毎日、1本ずつ丁寧に歯を磨く者の割合(12歳)	47.4%	増やす	53.1%	幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査				
		かかりつけ歯科医を持つ者の割合(12歳)	59.7%	90%以上	57.6%					
	ゆっくりよく噛んで食べるようにする者の割合(9歳)	59.8%	増やす	59.3%						

	事項	基準値※1	目標	現状値※2	出典	歯科口腔保健推進法 (基本的事項)(~34年度)	健康日本21(第二次) (~34年度)	健やか親子21(第二次)	第3次食育推進基本計画	
成人期						20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少[歯ぐきが腫れている]、「歯を磨いたときに血が出る」いずれかに回答した者(31.7%→25.0%)	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少(31.7%→25.0%)			
	進行した歯周病に罹っている者の割合【CPIコード3以上の者の割合】(40歳:35~44歳)	20.1%	18%以下	19.3%	歯科診療所患者調査	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少[CPIコード3以上、対象歯のない者は除く](37.3%→25.0%)	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少(37.3%→25.0%)			
						60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少(54.7%→45.0%)	60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少(54.7%→45.0%)			
						40歳(35~44歳)の未処置歯を有する者の割合の減少(40.3%→10.0%)				
						40歳で喪失歯のない者の割合の増加[対象年齢35~44歳](54.1%→75.0%)	40歳で喪失歯のない者の割合の増加[(54.1%→75.0%)			
	24歯以上有する者の割合(60歳:55~64歳)	63.4%	70%以上	70.0%		60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加[対象年齢55~64歳](60.2%→70.0%)	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加(60.2%→70.0%)			
						60歳の未処置歯を有する者の割合の減少[対象年齢55~64歳](37.6%→10.0%)				
	8020を知っている者の割合(20歳以上)	57.6%	増やす	57.1%						
	糖尿病・喫煙が歯周病のリスクであることを知っている者の割合(20歳以上)	糖尿病	42.3%	増やす		49.7%				
		喫煙	54.4%	増やす		54.2%				
	週に1回以上、フロスや歯間ブラシを使用している者の割合(40歳:35~44歳)	62.3%	80%以上	62.0%						
	かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者の割合(40歳:35~44歳)	59.6%	70%以上	71.9%						
									ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす(20歳以上) (49.2%→55%)	
						過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加[20歳以上](34.1%→65.0%)	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加(20歳以上)(34.1%→65.0%)			

	事項	基準値※1	目標	現状値※2	出典	歯科口腔保健推進法 (基本的事項)(~34年度)	健康日本21(第二次) (~34年度)	健やか親子21(第二次)	第3次食育推進基本計画
高齢期	歯・口の状態についてほぼ満足している者の割合	57.9%	増やす	54.8%					
						80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加[対象年齢75~84歳] (25.0%→50.0%)	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 (25.0%→50.0%)		
	8020の達成者の割合(80歳)	39.8%	50%以上	54.7%					
	口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている割合(20歳以上の都民・すべての職員が知っている介護保険施設) <small>→H26は、「ほとんどの職員」が知っている</small>	都民 31.6%	増やす	38.5%					
		施設 46.5%	増やす	76.0%	介護保険施設等における口腔ケア実態状況調査				
	よく噛む(一口30回程度)ようにしている者の割合(65歳:60~69歳)	41.4%	増やす	38.8%	歯科診療所患者調査				
						60歳代における咀嚼良好者の割合の増加[「何でも噛んで食べることができる」と回答した者](73.4%→80.0%)			
	在宅療養者の摂食・嚥下障害に関して、医師・歯科医師等と連携している訪問看護ステーションの割合	67.0%	増やす	75.4%	介護保険施設等における口腔ケア実態状況調査				
障害者						障害者支援施策及び障害児入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加 (66.9%→90.0%)			
要介護高齢者						介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施率の増加 (19.2%→50.0%)			
その他						3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加(6都道府県→23都道府県)	3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加(6都道府県→23都道府県)		
						12歳児の1人平均う歯数が1.0歯未満である都道府県の増加(7都道府県→28都道府県)	12歳児の1人平均う歯数が1.0歯未満である都道府県の増加(7都道府県→28都道府県)		
						歯科口腔保健の推進に関する条例を制定している都道府県の増加(26都道府県→36都道府県)			

※1 基準値は、21年度の調査結果

※2 現状値は、26年度の調査結果または25年度実績